

八清親和会 自治会役員の一とり言

令和4年8月6日

No37

八清親和会 副会長

吉田祐治

今年の夏は、ダブル警戒が必要！

8月も早5日となった。今年は1日から35～40℃以上になる猛暑の盛夏となった。ここ2日ほどは、30℃以下の涼しい日となったが、明日から再び猛暑の日々となるとの天気予報である。

今日メディア報道では、気象庁が新たな段階基準を設け、気温が35℃～40℃までを「猛暑日」、40℃以上は「酷暑日」と新たに区分け名称が設けられた。すでに「熱中症警戒アラート」が発令されたところもある。

このように今年の夏は、新型コロナウイルス感染症「第7波」の感染拡大注意と、熱中症にならない予防策の、2つの警戒が必要である。

自治会活動も、令和2年は「新型コロナ感染注意」、令和3年は「コロナに負けない」、令和4年の今年は「ウイズコロナ（コロナとの共存）」を目指し活動をしてきた。

今年もすでに5ヶ月となり、4月から8月現時点までは、通年活動の「常任委員会」は毎月全て対面形式で行われ、月2回の青年部有志による八親和会エリア（八清住宅地域）の防犯・防災パトロールも雨で中止となった1回を除き計画通り実施された。また、会報「八清親和会トピックス」も毎月発行され、会員へ情報が古新聞のようにならないようスピーディに発行出来た。さらに八清親和会ホームページのブログ投稿も、自治会の今を発信できている。

しかし、300人以上が集まる八清親和会四大会事は、参加者・来場者の安心安全の確保が困難であることや、クラスター発生を警戒し、早くも3つの行事が中止となった。

しかし、100人以下が集まる活動は計画通り実施された。

問題は、8月の猛暑、9月の残暑時の活動や10月以降の活動がどうなるかである。

8月は、すでに八清親和会最大の行事、夏祭りが中止となり寂しい夏となってしまった。

9月は第3ブロック運動会が中止となり輪番担当自治会としての準備が無くなり、これも寂しい残暑になってしまうかも。

10月以降は、新型コロナウイルス感染拡大も9月末までには収束すると思われる。

そうなれば感染対策をしながらの通常の活動に戻れると思われる。

会員の皆さん、10月以降の行事・活動に期待して、8月～9月を新型コロナウイルス感染や熱中症の予防対策をしっかりと行って乗り切ってください。

以上